J Forest

能登森林組合だより

第8号
平成28年9月発行

ネイチャーゲーム（森の福笑い）

植栽木の除草

奥能登木炭と原木しいたけBBQ

ネイチャーゲーム（フィールドビンゴ）

平成28年度緑の少年団珠洲ブロック（夏期スクール）活動

■編集・発行 **能登森林組合**

■総　務　部　〒927-0023　石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦17字5番地
■本所事業部　TEL 0768-52-0316／FAX 0768-52-8178
E-mail　h-shinrin@hyper.ocn.ne.jp

輪島支所
〒928-0011
輪島市杉平町1字1番地の1
TEL（0768）22-2452
FAX（0768）22-0996
・門前事業所　門前町清水13-6
TEL（0768）42-1312
・木材加工所　山岸町イ-73
TEL（0768）22-9776

能登支所
〒928-0331
能登町字柳田仁部39番地
TEL（0768）76-1231
FAX（0768）76-1230
・宇出津事業所
能登町字宇出津口字151番地
TEL（0768）62-0231

珠洲支所
〒927-1214
珠洲市飯田町7の129番地
TEL（0768）82-0674
FAX（0768）82-6194

挨拶

代表理事組合長　坂本　明

組合員の皆さん方には、日頃から組合の事業の推進についてご協力、ご支援を頂いております事にお礼を申し上げたいと思います。

さて戦後造成してきた一千万ヘクタールの人工林が本格的な伐期を迎えています。国では、この資源を循環利用するため、木材の需要拡大と国産材の安定供給を車の両輪とする林業の成長産業化に取り組んでいます。林業の成長産業化は、地域の資源を活かした持続的な産業を育成し、地域の雇用につながり地方の創生にも大きな期待が寄せられています。

今後の国産材の需要拡大についてはバイオ発電事業やＣＬＴ（直交集成板）の実用化が進められています。二〇二〇年の東京オリンピックのメイン会場である新国立競技場（木と緑のスタジアム）の建設には、国産材が多く使用される事になっています。このほか国産材での城郭の建設なども話題に上がっており、今後とも国産材の需要が拡大される事は喜ばしい事であります。

林業の成長産業化を進めるには、若い担い手の確保と現場において労働安全衛生の向上が重要であります。当組合においても過去の経験から労働安全意識の高揚を図るため毎月各支所にて安全衛生委員会を実施開催し無災害に真っ向から取り組んでおります。

今後とも組合員の皆さん方のご協力を頂きまして林業のメッカである当地域の林業の振興に努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げ挨拶といたします。

挨拶

代表理事副組合長　谷　定雄

この度、我が身の浅学非才を顧みず代表理事副組合長の重責を担うことになりました。組合を取り巻く状況は、依然として続く木材価格の低迷等非常に厳しいものがあります。

一方、㈱輪島ブルーエナジーによる木質バイオマス発電所が今秋からチップ製造ラインを稼働させ、来夏には発電の計画との事であり、木材需要増加の明るい兆しも見えてきております。

微力ではございますが組合員のための組合を信条に、安心して山を任せてもらえる組合を目指し尽力する所存でございますので、組合員各位のご協力をお願いし、ご挨拶申し上げます。

挨拶

代表理事副組合長　矢野　好廣

今般、代表理事副組合長を拝命賜りました。微力ながら地域林業の振興と組合の発展に尽くしてまいる所存です。

当地域は県下においても良質材の生産地であり、能登材ブランド化等による需要拡大が求められています。先般目にした報道番組で、能登ヒバ（アテ）の集成材がシンガポールに輸出され、使用された家屋では蚊の侵入が八〇％も削減されたとの事でありました。能登材の素材自体が持つ付加価値により続く木材価格の底上げ等、組合員皆様のご指導を頂きながら勤めを果して参りたいと思っておりますので、より一層のご支援と組合員皆様のご健勝とご多幸を祈念し、ご挨拶申し上げます。

アテ林業の再生と能登ヒバの利活用について

石川県奥能登農林総合事務所
森林部長　川上洋司

四月の人事異動により奥能登農林総合事務所森林部長を勤めています。

皆様方のご支援とご協力をいただきながら、地域の森林・林業・木材産業の発展に尽力して参りたいと考えております。

我が国の森林は、戦後造成された人工林の多くが本格的な利用期を迎える中で、その齢級構成は成熟化が進む一方、若齢林が極端に少ない歪な状態にあり、将来にわたって森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、成熟した森林資源を伐採し、利用した上で跡地に再造林を行う「若返り」を図ることが求められております。

そのような中、本県では、「森林資源の利活用」を初めて基本理念とした全国植樹祭を昨年五月に開催したところであり、今後、この基本理念が本県に根付くために県産材の有効活用と生産コスト低減に取り組むこととしております。

さて、管内は本県で最も林業の盛んな地域であり、能登の風土を生かしたアテ林業が広く行われており、アテ材（能登ヒバ）は、強度があり、曲げにも強く、また、殺菌性のあるヒノキチオールを多く含むため、腐りにくく、耐水性が高く、建築材として古くから能登の家づくりに利用されてきました。

近年、その良さが再評価され、金沢近郊で能登ヒバの柱や床材を売りにする住宅メーカーも増えつつあり、また、本年六月には、県内初となる不燃木材生産施設が志賀町に完成したことから、人が多く集まり、不燃材料や難燃材料を用いることが定められている公共施設や大型商業施設での利用が可能となるなどアテの利活用が増えております。

しかしながら、アテ造林地では、樹幹より大量の樹脂が流れ出る漏脂病の被害が発生しており、症状が進むと幹の腐れや変形が生じ、ムク材としての利用価値が損なわれることから被害材の有効活用とアテ林の再生が課題となっています。

そのため、県林業試験場では、漏脂病に強い県木アテの選抜に取り組んでおり、漏脂病に強い母樹がほぼ確定したところであり、平成三十年度には少量ではありますが苗木を出荷する計画です。また、漏脂病に強い苗をより多く確保するため、漏脂病に強いと確認された母樹と森林所有者が所有する苗生産用母樹との系統を調べております。調査を希望される方は末尾までご連絡ください。

また、被害を受けた箇所を切り除き、張り合わせて建築材に加工する施設（集成材・ＣＬＴ）に対しても支援しており、能登ヒバの用途拡大に努めているところであります。

こうした取組により、森林所有者の所得の向上を図り、持続的な経営が可能になるとともに健全な森林を次の世代に引き継いでまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い致します。

最後になりましたが、能登森林組合の益々のご繁栄と、組合員の皆様方のご多幸を祈念してご挨拶といたします。

苗生産用母樹の漏脂病に対する調査の問合せ先
林業試験場　池田（０７６・２７２・０６７３）

第61回石川県山林大会被表彰者

平成二十八年八月二十五日（木）羽咋市のコスモアイル羽咋において、第61回石川県山林大会が開催され、能登森林組合管内で次の方々が、栄えある表彰を受けられました。

1．林業功労者

石川県山林協会長賞

［地域林業の推進］

◇越渡　朝生（穴水町）

［森林組合の育成］

◇堂前　靖彦（能登町）

2．育林コンクール

石川県知事賞

［スギ42年生］

◇松ヶ瀬昌太（珠洲市）

全国林業改良普及協会会長賞

［スギ42年生］

◇山岸　昭夫（能登町）

石川県山林協会長賞

［スギ32年生］

◇東　善右エ門（輪島市）

平成二十八年度通常総代会開催される

六月二十三日（木）午前十時より、のとふれあい文化センターにおいて第七回通常総代会が開催されました。

開会に先立ち表彰授与式が行われ、次の方々が表彰をうけました。

◇感謝状（県森林組合連合会長表彰）

○(故)古坊勝文（前理事・輪島市）

◇二十年勤続表彰（県森林組合連合会長表彰）

○坂本博秋（輪島支所）

○谷　昌俊（輪島支所）

また、来賓の方々を代表し、奥能登農林総合事務所・宮田所長、森林総合研究所金沢水源林整備事務所・西所長及び県森林組合連合会・橋場専務よりご祝辞を頂き、議長に穴水町木原の松本弥さんが選出され、提出された議案すべて原案通り可決、承認されました。

可決、承認された議案は次の通りです。

第一号議案　平成二十七年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書について

第二号議案　平成二十八年度事業計画設定について

第三号議案　平成二十八年度役員報酬決定について

第四号議案　平成二十八年度貸付金の最高限度並びに貸付金利率の決定について

第五号議案　平成二十八年度借入金最高限度の決定について

第六号議案　平成二十八年度余裕金預入先金融機関の決定について

附帯決議

役員選挙において新たな執行体制決定

総代会々場にて行われた役員選挙において、新たな役員が決定し、引き続き行われた組織理事会で新執行体制が決定しました。

新役員の任期は、三年後の通常総代会終了までとなります。理事二一名、監事四名の新役員は次の皆さんです。

［理事］

代表理事組合長
坂本　明（穴水町）

代表理事副組合長
谷　定雄（輪島市）

代表理事副組合長
矢野好廣（珠洲市）
山本登一（能登町）
廣野拓雄（輪島市）
數馬嘉雄（能登町）
高　正吉（穴水町）
片岡秋一（穴水町）
小田宏男（能登町）
尾重和彦（珠洲市）
河内靖夫（輪島市）
＊中山正彦（輪島市）
＊福島雅夫（珠洲市）
＊垣地太良三郎（輪島市）
＊山岸昭夫（能登町）
＊森倉正信（輪島市）
＊元井孝司（輪島市）
＊桜井幸造（珠洲市）
＊中谷内稔（輪島市）
＊舘　博之（能登町）
＊谷内利明（能登町）

［監事］

代表監事
田原義昭（能登町）
室谷信子（能登町）
＊新　工一（珠洲市）
＊表　富男（輪島市）

［＊印・新任］

お知らせ

出資配当は一・〇%です

平成二十七年度決算に基づく出資配当金は、組合員皆さんの御協力によりまして、一・〇%の配当が総代会で決議されました。

配当金の支払いは、出資金一〇万円以上の方については現金振込とし、未満の方については出資予約預かりとさせて頂きます。

出資配当金支払明細書について

能登森林組合では、出資証券の交付は致しませんので、本誌に同封の出資配当金支払明細書で出資金額及び配当額を確認して下さい。

名義変更手続きはお済みですか？

相続や経営委託（山林の相続・贈与ではないが経営管理を父から息子へ引継いだ等）の場合は組合員名義の変更手続きが必要となります。

◇相続の場合

相続加入手続きとなり、組合員であるご家族が死亡されてから一〇ヶ月以内

○相続人が確定し登記された時点

○登記前の場合は、相続人の分割協議等を証する書類が必要です。

※一〇ヶ月以上経過している場合は、手続きが異なりますので、詳しくは組合にお問い合わせ下さい。

手続きは本所、各支所で受付します。

バイオチップ輪島チップ工場開業

昨年11月より、輪島市三井町において建設に着手していました㈱バイオチップ輪島のチップ製造工場が、この10月より開業します。

当チップ工場は、石川県森林組合連合会を通じて、能登森林組合を中心に、中能登森林組合、金沢森林組合の３組合から間伐材等のC.D材原木を購入し、チップ製造を行います。

すでに、㈱バイオチップ輪島が準備した能登町太田原の貯木場では、昨年11月から貯木が開始され、約4,000トンの貯木が行われています。

また、チップ工場に併設される㈱輪島ブルーエナジーの木質チップ発電所は、オーストリア、ドイツ等で普及している小型の発電システム（発電出力は約2,000kW）が採用され、2017年８月の完成予定です。発電所本格稼働時には年間34,200t（2,850t ／月）の間伐材等の未利用木材が必要になることから、組合員の皆様には今以上に集約化に協力いただき、間伐・更新伐を推進して木材供給量の拡大に努めたいと考えております。

発電所完成予想パース

高性能林業機械導入によりコスト低減に取り組みます！

今年３月18日に間伐材等加工流通施設整備等交付金により高性能林業機械４台を新規導入致しました。間伐材等の生産性を高め、コスト縮減に繋げることにより組合員への利益還元を最優先に利用して参ります。また、生産量の拡大を図り、木材を安定的に供給し、木材価格の安定を図りたいと考えております。

次に、今回導入した機種の特徴を紹介させて頂きます。（写真手前から）

◇ ハーベスタ（コマツPC138US-10MN）

・伐倒／枝払い／玉切り作業をこの１台でハイスピード処理出来ます。

◇ プロセッサ（コマツPC138US-10・イワフジGP-35A）

・信頼性の高いスタンダード仕様の造材（枝払い／玉切り）専用機械です。

◇ スイングヤーダ（コマツPC138US-8S・フェラーバンチャザウルスロボ付）

・立木の伐倒、路網作設、グラップル作業が１台で可能なフェラーバンチャザウルスロボと架線集材機能を合わせ持ったマルチ機能の最新鋭機です。

◇ フォワーダ（モロオカMST-700VDL-G）

・能登の地形に適したグラップル搭載型林内運搬車（3.8t 積載）です。

今回新規に導入した４台の機械を含め23台の高性能林業機械を安全作業に徹しフル稼働させ低コスト化を目指しますので、なお一層の間伐等の事業委託をよろしくお願い致します。

集約化で蘇りを図る山林収入

1 一馬力から一機100PS(馬力)に変遷

林業における高性能林業機械の有効活用と集約化施業は、施業の安全性と効率向上において一心同体と言える関係にあります。今からおよそ四〇年以前の頃になりますが、当時組合員の方で択伐林産を請け負って生業とされている方がおられました。現場の規模条件によりますが、馬を使って午前中一回・午後一回、大きな声を出して馬のお尻をたたきながら丸太を運び出し、当時の材積で一日四石（こく）一㎥前後の搬出であったと記憶しています。

その後、人馬から架線集材・小型の林内運搬車にと変遷し、現在では建設用機械をベースマシンとして林業用に多用途化仕様となり「立木の伐倒から枝払い、任意設定した長尺に造材し、更には集積や積込みまでの工程を一連作業出来る機械が導入され、目標生産値は作業員一日一人当たり一〇㎥を越える設定がなされるに至りました。

ここで不可欠となるのが現場の規模と事業実施要件の適否ですが、平成十年以降の集団間伐・長期循環林施業にはじまり現在の集約化施業にと、変革の度に組合員の皆様には御理解をいただいておりますが、現在の事業実施要件は前記の機械導入をもってしても更なる生産コストの低減を求められています。

現在の生産効率は、利用間伐の場合で約四㎥程ですが、職員のプランニング力と作業員の能力向上を図ることはもとより、機械の生産性能を発揮できる現場（一日三人で三〇㎥・半年で四千㎥・で三〇ha超の面積）の集約化を目標としておりますので、組合員皆様の更なる御理解と御協力を御願いすると共に、職員一同より良い施業提案が出来るよう務めたいと思います。

危険な雪道、がんばれ
いまも輪島で馬の地引き
荒い息遣い飛ぶ大声

2 集約化で里山広葉樹林の若返りを図る

山の整備事業は森林経営計画に基づき、集落単位で施業をしています。また森林を一体的に施業することで効率化と搬出経費の軽減を図り、次期の森林整備を見据えた施業プランを提案させていただき実施をしております。その施業種の一つで天然林更新伐施業は、かつては里山と称され薪や木炭、しいたけ原木等に利用されていた天然林（落葉広葉樹）で、燃料革命や生産者の激減により放置され高齢級によって、ナラ枯れ等の病害虫により公益的機能さえも低下している山を、再び蘇えさせる施業で、搬出した後の切り株からの萌芽やドングリが発根発芽することで山の自力（天然）更新を促し、公益的機能を活性化させ里山広葉樹林の若返りを図る事業ですが、出材コストが合わず林地に放置されていた未利用材や林地残材も、集落単位で集約化し、多用途林業機械を導入駆使する事で搬出利用が出来るような体制が整ってきています。

更新伐によって伐採・搬出された原木は、しいたけ（秋冬期に需要）の外、バイオマスエネルギーへの転換（全シーズン出材可）や地産地消という考え方が広まりつつあり、需要は年々増加しています。

里山の若返りは、苦慮しているイノシシ被害や危惧されるクマ被害対策にも効果があるものと期待し、組合員皆さんのご協力をお願い致します。

3 施業集約化と低コスト化への取組み

森林経営計画に基づく森林整備も五年目を迎え、年々、着実に搬出材積の実績を増やし、三万立方米の大台を超すことができました。その要因として、森林所有者の方々の集約化施業に対するご理解がまず一番にあげられます。その他の理由として、作業システムの確立及びオペレーターの技術向上、林業事業体のご協力、積極的なレンタルリースによる林業機械の活用、そして今年三月に新規導入したプロセッサ等の高性能林業機械によるものと確信しています。そして、これからも、なお一層提案型集約化施業を継続推進していきます。この集約化こそが低コストに結びつく最も主要な要素であり、施業プランナーによる森林所有者の繋がりを導き出す事の重要性が認識されつつあり、森林境界等の諸課題を克服することにより、更なる事業実績の増量を目指します。

今後の課題として、高林齢の天然林や人工林の更新伐をいかにプラスできるかだと思っています。又、一部皆伐等への事業展開を模索しておりますが、市町間で森林資源の構成が違うため、皆さまのご意見を賜りながら進めていきますので、ご支援ご協力よろしくお願い致します。

石川県伐木競技大会

4 竹林整備における集約化

近年、山林の手入れ不足や管理放棄等による荒廃森林が拡大している現状は、組合員の方誰しもが近隣の山林または自己山林に於いて懸念困惑されているところであります。

繁茂拡大する侵入竹被害は植林木の樹根成長を阻み、上空がうっ閉される事で日照不足となり立ち枯れに至ります。侵入竹被害は、先人が後世に託した奥能登の杉・档などの針葉樹美林形成による良質材の生産や里山の景勝さえも破壊する勢いです。

集約化による杉・档の間伐施業を推進するなかで、侵入竹被害も集約的対策が必要不可欠であり、現在は唯一の対策事業である「いしかわ森林環境基金事業」メニューより対応しているが、今年は二期目の最終年に当たる事から事業の駆け込み申込が相次いでおり、要望の調整に苦慮している状況である。また、今年は採択要件として「隣接する発生源竹林を含め全体を一体的に管理整備する事」が求められ、まさに竹林被害対策の再発（再生竹）防止に向けた、集約化がカギとなります。

組合員の方々には利用間伐の集約化同様、竹林整備の集約化にご理解をいただき先人の思いを引き継ぎ、高品位な能登の里山美林を後世に継承していただく為、組合と致しましても、森林環境基金事業の継続に向け、関係機関に働きかけて参ります。

組合職員を募集します

能登森林組合では平成二十九年度採用予定の事務職員を次のとおり募集します。

◇募集予定人数　若干名

◇応募資格

1．大学卒業又は卒業見込み以上の学歴の方。

①昭和六十二年四月二日以降に生まれた方、又は平成二十九年三月までに卒業見込みの方。

2．短大・高校卒業または卒業見込みの方。

①平成七年四月二日から平成十一年四月一日までに生まれた方。

◇給与形態

基本給（月額）

一三六、二〇〇円～一七六、七〇〇円

◇採用予定　平成二十九年四月一日

◇受付期間

平成二十八年十月二十一日(金)一七時まで

※郵送(簡易書留)の場合は二十一日必着

◇試験の日時・場所

第1次試験日《十月二十八日(金)　実施予定》で会場は応募者へ通知します。

◇申込・問い合わせ先

能登森林組合本所（総務部）

〒九二七－〇〇二三

鳳珠郡穴水町字麦ケ浦一七－一五

TEL〇七六八－五二－〇三一六

担当：細田

新入職員の紹介

○平成二十八年四月一日付 採用

輪島支所
技師
熊野（くまの）　出海（いづみ）
（輪島市出身）

◇組合に入社し、仕事のことなどの他、わからない事がたくさんありますが、配属された輪島支所では、現場や、書類の事など、先輩方から丁寧に教えてもらっています。

自分は覚える事が苦手なので先輩方に何回も聞き直す毎日ですが、多くの知識を学び、一日でも早く組合員の方々のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

本所（穴水支所）
技師
山田（やまだ）　峻伊智（しゅんいち）
（輪島市出身）

◇祖父が林業の仕事に携わっていた事から、私も林業に興味をもち組合に入社しました。

高校の授業で学んだパソコン等の知識を活かし、組合員皆様の要望にお応えできるよう頑張ってまいります。

宜しくお願い致します。

能登ヒバのブランド展開について

能登ヒバ活性化プロジェクト実行委員会が進めている能登の里山里海資源を活用した能登ヒバのブランド展開を全面協力しております。能登の林業に活気と活力を与えるには、木材の認知度を高め、その価値を押し上げることが大切であり、「能登ヒバ」の魅力を発信する事は組合員の経済的向上に繋がると考えております。今回、能登ヒバから抽出した精油水を使った３種類のアロマスプレーをATTE（アッテ）と言うネーミングで、県内各所ならびに首都圏での販売が予定されております。

今後、新たな需要が想定される中、能登ヒバ原木の安定供給が非常に重要になってきています。補助事業及び林産事業を活用して出荷して頂きたくお願い申し上げます。

ゆず
（和を感じさせる凛とした香り）

フェミニン
（女性のやさしさを感じるときめきの香り）

フォレスト
（能登の自然を感じさせる癒しの香り）

各40ml　価格2,300円（税込）